

事務事業名		舗装事業			目標設定日	令和2年3月1日
					部・局	建設水道部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり		課・室	道路河川課
	政策	06	身近な生活基盤の充実		係	維持係
	施策	03	暮らしを支える道路網の整備		内線電話	266
予算体系	会計	一般会計			実施計画	
	款	8款	土木費		計上	
	項	2項	道路橋梁費		実施期間	
	目	3目	道路新設改良費		合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民		意図（どのような状態にしたいのか）	安全で快適な走行性を確保する。	
現状・課題	平成25年に実施した路面性状調査の結果では、舗装の維持管理指数が4.9であり、望ましい水準を下回っている。					
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務		道路法第42条			
事務事業概要	舗装修繕工事を実施し、舗装の長寿命化を図る。					
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容				活動量	
	平岡2号線ほか6路線舗装修繕工事				A = 43,752㎡	
	竹原73号線ほか2路線上下水道本復旧工事				A = 1,810㎡	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	R2は予算額	予算額	当初予算	円	161,466,000	260,922,000
補正・流用等			円	-44,717,000	-86,152,000	-
合計			円	116,749,000	174,770,000	316,660,000
決算（見込）額 A			円	103,067,503	174,770,000	-
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円	17,595,000	2,557,000	83,931,000
		県支出金	円			
		市債	円	53,600,000	56,700,000	182,000,000
		その他特定財源	円	12,268,800	26,800,000	17,400,000
一般財源			円	19,603,703	88,713,000	33,329,000
正規職員数			人	1.87	1.74	1.74
人件費 B			円	12,031,580	11,209,080	11,209,080
総事業費 A+B			円	115,099,083	185,979,080	327,869,080
市民1人当たりコスト			円	2,691	4,371	7,735

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
舗装修繕率（当該年度）		維持	目標	100.0	%	100.0	%	100.0	%
			成果	70.3	%	55.3	%	-	
舗装本復旧率（当該年度）		維持	目標	100.0	%	100.0	%	100.0	%
			成果	100.0	%	100.0	%	-	
成果指標と目標値を設定した理由	快適な道路通行を確保する。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	計画的に舗装工事を実施する。						

